

鋼材輸送管理システム「AIR」

サービスサイト公開

普及促進・拡販の一助に

五十鈴グループ

五十鈴グループ（鈴木勝CEO）は、自社で開発した物流系基幹



システム「AIR（エア）」のサービスサイト（URL：https://sz-air.site/）を立ち上げ、インターネット

上に公開した。写真。

「AIR」は、配車計画のデジタル化やリアルタイムでのデータ収集・運行状況の可視化など、鋼材物流の効率化と輸送力向上を目的に独自開発した次世代運行管理システム。

グループ傘下で鋼材輸送を手掛けるワレックスが長年蓄積したノウハウと、グループのソリューション機能を連携した最適システムに仕上げ、グループ内で運用するほか、外販も手掛けている。

重量物や長尺材の荷積み・荷下ろし作業も伴う鋼材輸送は、以前からドライバー不足が懸案だったが、働き方改革に伴うトラックドライバーの時間外労働制限が厳格化されたいわゆる「物流24年問題」によりさらに深刻化。

事業の持続可能性の観点からも、抜本的な業務プロセス変革が経営の重要課題として顕在化してきている。

IT技術を駆使したデジタル物流管理シス

R」の普及促進と拡販を通じ、物流業界に貢献していく考え。

サービスサイトのトップ画面に「資料ダウ

ンロード」を設置し、閲覧者にはダウンロードの目的を入力してもらう仕組みとした。これにより、閲覧者のニーズを的確に把握し、それに対応した提案やサービスを提示すること、新規導入の拡大を図る。

五十鈴グループでは、この取り組みを通じて、将来的なデジタルマーケティング手法を採り入れた営業活動

全体の強化につなげていく構想もある。同サイト公開は、その突破口にもなり得るとして力を注いでいく。

